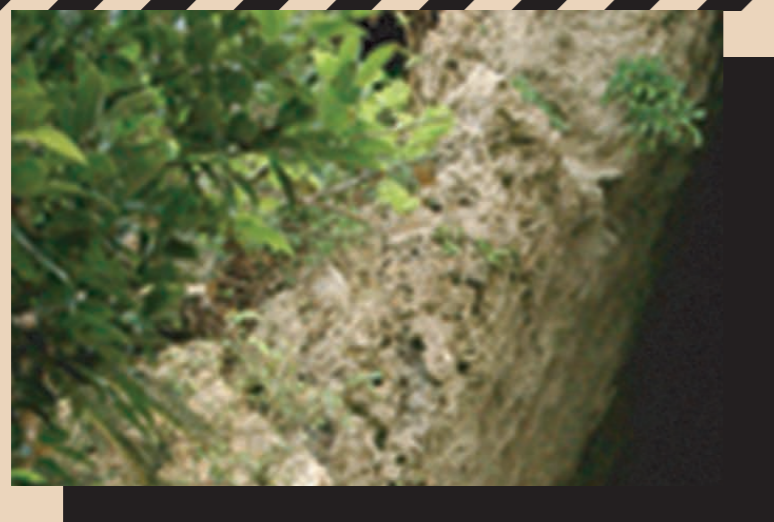


LIBRARY わおん

環on映画会

41th MOVIE SHOW AT WAON



記録映画

久高オデッセイ

KUDAKA ODYSSEY

第二部 生章

上映映画
FILM

久高オデッセイ 第2部 生章

大重 潤一郎監督 鎌田東二制作 2009年 74分
Kudaka Odyssey (Junichiro Oshige, 2009, 74min)

開催日時
DATA

2013.11.19.TUE
OPEN 18:00 START 18:15

会場
PLACE

京都大学 人環・総人図書館
環on(わおん)

料金
CHARGE

FREE

お問い合わせ
INQUIRY

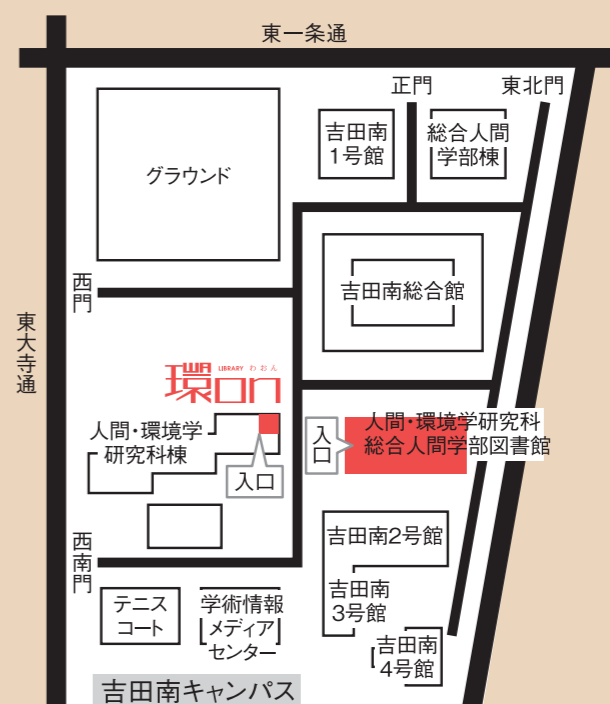
京都大学 人環・総人図書館
waon.movie@gmail.com
075-753-6537

案内人
GUIDE

鎌田 東二教授 Prof. Toji Kamata
(宗教学、京都大学こころの未来研究センター)

1951年生まれ。國學院大學大学院文学研究科博士課程神道学専攻単位取得満期退学。岡山大学大学院医歯学総合研究科博士課程社会環境生命科学専攻単位取得満期退学。文学博士。NPO法人東京自由大学理事長、京都大学こころの未来研究センター教授。著書に『翁童論』(1)~(4)『記号と言霊』『宗教と霊性』『謎のサルタヒコ』『神と仏の精神史』『呪い』を解く』『霊的人間』『平田篤胤の神界フィールドワーク』『聖地感覚』他。

MAP



自然と人間と文明との葛藤と調和への希求を描く記録映画。気配の魔術師の映像気配を感受ください!

大重潤一郎(1946~)の記録映画「久高オデッセイ 第二部 生章」(2009年製作)は、縁あってわたしが製作を担当しました。久高島は、沖縄本島東北部に浮かぶ人口200名ほどの大変小さな島ですが、琉球王朝時代から「神の島」として、東方ニラー・ハラー(ニライカナイ)信仰を保持してきた島です。そこでは、12年に1度、午年に神女(カミンチュ)になるための儀式イザイホーが行なわれてきましたが、1978年以降、その伝統も途絶えています。来年2014年はその午年に当たりますが、イザイホーが行なわれるかどうか、不明です。

大重潤一郎は、2000年に『縄文』(福井県三方町縄文博物館常設展示映像)と『原郷ニライカナイへー比嘉康雄の魂』、2001年に『ビッグマウンテンへの道』(ナレーション:山尾三省)を発表し、それを「古層三部作」を名付けました。その後、大重は沖縄に移住して、故比嘉康雄氏の遺志を受け継ぎながら久高島と那覇市に住み着いて「久高オデッセイ 第一部」の製作に取りかかりました。が、2004年10月に脳内出血で倒れ、再起不能の状態にまで追い込まれながらも、

激痛に耐えつつ、半身不随の体に鞭打ち、2006年に「久高オデッセイ 第一部 結章」を完成させ、さらに2009年に「久高オデッセイ 第二部 生章」を完成。2015年には「久高オデッセイ 第三部 風章」を完成させる予定です。その第三部の製作も縁あってわたしが担当することになりました。大重は、デビュー作「黒神」(1970年/75分)から、「大阪のチベット」と呼ばれた能勢町のミサイル基地建設の反対運動を記録した「能勢〜能勢ナイキ反対住民連絡会議」(1972年)などを経て、「水の心」(1991年/30分)、「風の島」(1996年/45分)、「小川プロ訪問記」(2001年/62分)など、次々に自然と人間と文明との葛藤と調和への希求を描く記録映画を発表し続けてきました。

その大重潤一郎が満身創痍の身心に鞭打って完成させたのが、今回上映する「久高オデッセイ 第二部 生章」になります。そこには、大重の「いのちの唄」が詠唱されています。映像の詩人にして気配の魔術師、大重潤一郎のその「いのちの唄」をお聴きください。(鎌田東二記)